

中学校
1年

Let's interview people from overseas in Kyoto!

守口市立大久保中学校

教科

社会科

単元名

世界の諸地域のさまざまな地域の調査

単元でつきたい力（ステップシートの項目）

（教科等でつきたい力）

- 世界のさまざまな地域の資料（写真・図表・記事）を主体的に取捨選択し、11の視点について多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に相手に伝える

（学校図書館等の活用でつきたい力）

- 目的に応じて図書資料やタブレット端末で調べ、適切な情報を収集し、その情報を活用する
- 調べた情報をまとめ、伝えたい内容を整理する

本単元で育む主な情報活用能力

C-STEP3, G-STEP4
J-STEP3, P-STEP3

該当番号の詳細内容は

「大阪府情報活用能力

ステップシート」から確認できます。



単元における学習の展開（全11時間）（学校図書館等を活用した時間に☆印）

第1次 (5時間)	・各州の人々の生活と環境に関する基礎的事項を確認するとともに、地理的な見方・考え方を働かせて学習の成果を表現できるようにする。 ・世界の地域の地図や景観資料、統計資料などを活用して、抱いた疑問を整理・分類する(☆)。 ※11の視点【自然環境】【結びつき】【産業】【人口】【文化】【環境問題】【歴史的背景】【衣服】【食事】【住居】【その他のスポーツやお祭りなど】 ・オリジナル世界ガイドマップを作成し(1人1テーマ)、視覚的にわかりやすくまとめ(Canva)、インタビューの準備を進める(☆)。
第2次 (3時間)	・それぞれが個人で違う図書資料を使用し、内容を精査し、有用な情報を整理確認する。(☆)。 ・班で図書資料を活用し、諸課題が起こる原因や諸課題が与える影響について調べる。 ・共同編集作業(オクリンク+)を通し、情報収集、整理分析の過程で、班ごとに役割分担を担い、課題解決に向けて取り組む。
第3次 (3時間)	・調べたテーマや目的・方法や調べた結果、課題について記述し、視覚的にわかりやすくまとめたうえで疑似インタビューを実施する。 ・インタビューをする前と後で、どのような点が良かったのか、どのような課題や疑問が生じたのか、インタビューに向けて更にどのように改善していく必要があるのかを整理する。

本時のねらい

- 情報収集・整理分析したものを活用し、世界各地の人々の多様な生活と環境に対して関心を持ち、主体的に追究する。

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	学校図書館活用のポイント 及び指導上の留意点
導入 (10分)	1STEP これまでに学習したさまざまな地域について理解、思考したことを振り返る ・本時の学習計画を確認する。 インタビュー疑似体験を通して、地域・国の特徴を伝えよう！	・前時と合わせて2時間分の学習計画を立てている。 ・進度に合わせて、グループごとに計画を修正する
展開 (25分)	2STEP 情報収集・整理分析したものを追究する。 【インタビューの実践】 ・参観されている先生方に、インタビューを実施 ①インタビューする相手の出身国に応じて自分たちの調べた内容を伝える(発信) ②インタビューする相手から質問を受ける(質問内容を記録する) 【インタビュー後の実践】 ③質問内容を班で共有し、教科書や地図帳、図書資料を活用し、各々シートにまとめる。 ④インタビューをする前とインタビューをした後で、この地域・国のイメージとしては、この見方・考え方が特徴なのかな・や、このポイント（見方・考え方）は自分たちの調べ方が不十分だったな・という点を班で振り返り、学級で共有する。	①参観される先生方にインタビュー → 質問をうける ②解答できる質問であればその場で伝える。 解答するのが難しい質問に対して、班で持ち帰る。 ・本時では、参観される先生方からの質問や意見を取り入れて、考えを深める活動を行う。その際、自分はこの情報収集手段(教科書/地図帳/図書資料/インターネット等々)を活用し、どのように分析・整理するかは自分自身が選択できるようにする。本やインターネットで調べた情報はみんなのボード(オクリンク+)内で共有する。
まとめ (15分)	3STEP スプレッドシートに、振り返りを記入させる。	・本時では、『インタビューではどのような工夫をしたのか』『インタビュー後に感じたことや、課題面』の視点が入るように促す。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- 図書資料や教科書・地図帳を活用する際に、付箋を使うことを促す。
 - 班で図書資料を活用した内容を共有し、どのような視点で図書資料を活用したのかを学級で検討する時間を設ける。
 - 個々に応じた課題を自ら設定させ、図書資料や教科書を使って調べ、自信をもって発信できるように支援する。
- (子どもたちの振り返り)
- アフリカの課題点について学び、それをインタビューで相手に伝えることができました。
 - 予測していた質問で、しっかりと答えられ、相手にも理解していただけてよかったです。次の目標は京都で外国の方に伝えることなので、食料不足や水道・電気などのアフリカの課題点をもう一度よく理解して頑張りたいです。



図書資料を活用し、調べたことをまとめている様子